広報やながわ
柳川
Public relations magazine of Yanagawa

10/15
2020.No.373

広報やながわ　令和２年10月15日号　No.373

CONTENTS　ページ

インフルエンザワクチン無料化ほか　2
新型コロナ関連情報ほか　3
お知らせ掲示板ほか　4~7
人権・同和教育シリーズ　8

●発行　柳川市／〒832-8601 福岡県柳川市本町87-1
●編集　総務部企画課広報広聴係（直通）☎0944-77-8425　FAX74-5520
●URL https://www.city.yanagawa.fukuoka.jp/　●e-mail kouho@city.yanagawa.lg.jp

「広報やながわ」は、年齢や障がいの有無などを問わず、できるだけ多くの人が読めるように、ユニバーサルデザインを導入しています。

柳川から巣立つレーサーの卵たち

養成所チャンプ決定戦では８年ぶりに女子王者が誕生

市内にあるボートレーサー養成所で９月25日、第127期選手養成訓練修了記念競走がありました。平成13年に山梨県から市内へ移転した同養成所は、ボートレーサーを養成する日本で唯一の施設。毎年全国から競争率約20倍もの狭き門を突破した選手が入所し、１年間厳しい訓練を受けます。その厳しさは有名で、50人以上が入所した第127期ですが、修了したのは29人。最終日の記念競走では、修了生は訓練で学んだ技術をいかんなく発揮し、水面を飛ぶように駆けていました。養成所チャンプ決定戦では、山口県出身の清水愛海（あみ）さんが優勝。女子が優勝したのは、８年ぶり６人目。また養成所リーグ戦勝率１位に輝く快挙となりました。修了生は、11月から全国各地のレースでプロデビューします。

人権・同和教育シリーズ 185

人権作文

市内の小中学生が書いた人権作文を紹介します。

ふわふわことばのはなをさかせよう

昭代第二小学校１年
木下　璃音（りお）さん

わたしのクラスでは、※ふわふわことばのはなをさかせることをがんばっています。

７がつのぜんこうほうそうで、じんけんをまもるとは、みんながしあわせにいきることだと、こうちょうせんせいからのおはなしがありました。そのときは、よくわかりませんでした。でもふわふわことばをがんばると、きもちがよくなるかもしれないとおもいました。

はじめは、みんなで、ふわふわことばをみつけて、きょうしつにかざりました。そのなかから、すこしずつつかってみようとおもいました。

たいいくのみずあそびのじかんに、すずねさんが、いっしょうけんめいおよいでいたので、「がんばれ。」とこえをかけました。すずねさんは、うれしそうにしてくれました。それをみて、わたしもうれしくなりました。

なわとびのじかんには、あさとさんに、「いっぱいできるようになったね。」といいました。あさとさんは、すなろがっきゅうでべんきょうしています。たいいくやせいかつか、おんがくやずこうのべんきょうのときに、わたしのクラスにきます。いつも、いっしょにいないので、すこし、はずかしかったけど、はじめ、１かいしかできなかったのに、ものすごくがんばって、10かいもとべるようになったので、おもいきっていいました。そしたら、あさとさんは、もっとがんばってれんしゅうをはじめました。いってよかったなとおもいました。

ふわふわことばをいってくれたともだちもいます。あんりさんは、わたしがころんだとき、「だいじょうぶ。」といってくれました。てが、ぴりぴりといたかったけど、また、がんばろうとおもいました。

ふわふわことばをつかうと、わたしだけでなく、みんなのきもちがやさしくなって、うれしくなって、なかよくなれるんだとわかりました。

これからも、ふわふわことばをたくさんつかって、みんなをえがおにしたいです。

【先生からのひと言】

友だちの頑張りに気付き、自分から進んでふわふわ言葉を使った璃音さんの優しさがすばらしいと思います。ふわふわ言葉の良さに気付いた璃音さんの周りは、笑顔があふれることでしょう。

※ふわふわ言葉…相手を思いやる優しい言葉